

スペイン語ガイドブック

無主語文

Q -1 :無主語文とは？

スペイン語は主語を言わなくてもよいので無主語のように見える文がたくさんありますが、それらは動詞の活用形で主語がわかります。一方、存在、自然現象、時などの表現で主語がもともとない文もよく使われます。ほとんどが3人称単数形ですが、時刻の表現で3人称複数形も使われます。

Q -2 :「存在」を示す無主語文は？

(1) haberの3人称単数は¹、「いる、ある」という意味で、人や物事が存在することを示します。直説法現在にはhayという特別な形を使います²。

- ¿Cuántas personas hay en este grupo? -- Hay cuarenta. // このグループには何人の人がいますか？—40人います。
- ¡Ya no hay tiempo! – Sí, todavía hay tiempo. // もう時間がない！いや、まだ時間はあるよ。◇tiempo (男) 時間

(2) 他の法・時制では特別な形はなく、ふつうの3人称単数形を使います。

- ¿Había mucha gente en la plaza? – Sí, porque era domingo. // 広場にはたくさんの方がいましたか？—はい、日曜日でしたから。
- ¿Habrán asientos para todos? – No, creo que no. // みんなの分の席はある

¹ ときどき haber が複数形で使われることがあります、これは誤用法とされています。

- En la discoteca ×habían muchos chicos extranjeros. // ディスコには外国の若者がたくさんいました。

² haber は完了形でも使いますが、そのときの現在形3人称単数の形はhaです。

かな？—いいや、ないと思う。◇**asiento** (男) 席

(3) haber の後の名詞は主語ではなく目的語なので、代名詞にするときは lo, los, la, las という直接目的語の形を使います。

- ¿Hay buenas playas en Santander? – Claro que las hay. //サンタンデルに
よいビーチはありますか？—もちろん、あります。◇**playa** (女) 海
岸、ビーチ
- Supermercados, los hay baratos. // スーパーマーケットは安売りの店が
あります。◇**supermercado** (男) スーパーマーケット

Q-3: 「自然現象」を示す無主語文は？

(1) 日本語では「雨が降る」、「雪が降る」などの文では、「雨が」、「雪が」の部分が主語を示しますが、スペイン語では、それぞれ llover「雨が降る」、nevar「雪が降る」という1つの動詞の3人称単数形を使います。

- Aquí llueve mucho. ¿Ahí, qué tal? // こちらでは雨がよく降りますが、そ
ちらではどうですか？
- Este año ha nevado poco. // 今年は雪が少なかった。

(2) hacer の3人称単数形で「天候」を示す無主語文ができます。

- Hoy hace muy buen tiempo. // 今日は天気がとてもよい。
- Ayer hizo mal tiempo. // 昨日は天気が悪かった。
- Hace calor, ¿no? – Sí, mucho. // 暑いね？—うん、とつても。

(3) estar の3人称単数形で「状況」を示す無主語文ができます。

- A estas horas ya está oscuro en invierno. // 冬ではこの時間でもう暗くな
る。◇**oscuro** (形) 暗い

Q -4 : 「時・時刻」を示す無主語文は？

(1) ser の 3 人称単数形で「時」を示す無主語文ができます。

- Nunca es tarde para aprender. // 学ぶのに遅いということは決してありません。◇**tarde** (副) 遅い **aprender** (動) 学ぶ
- Todavía es temprano para preparar la cena. // 夕食を準備するにはまだ早いです。◇**temprano** (形) 早い **preparar** (動) 用意する **cena** (女) 夕食

(2) ser の 3 人称単数形・複数形で時刻を示します。補語が単数のときに単数形を使い、補語が複数になると複数形を使います。

- Ya es la una y media. // もう 1 時半です。◇**media** (女) 半分
- ¿Qué hora es?³ -- Son las dos menos diez. // 何時ですか？—2 時 10 分前です。◇**menos** (副) より少なく

(3) hacer ~ que ... という構文で「…して～になる」という意味の無主語文ができます。

- Hace diez años que estudio español. // 私は 10 年間スペイン語の勉強をしています⁴。
- Sólo hace tres meses que se conocieron. // 彼らは知り合ってから 3 ヶ月しかたっていない⁵。◇**se conocieron** < conocerse (再・3 人称複数) 知り合いになる

³ 地域によって次のように複数形が使われることがあります。

- ¿Qué horas son?

⁴ この文は次のように言い換えることができます。

- Estudio español desde hace diez años. // 私は 10 年前からスペイン語の勉強をしています。

⁵ この文は次のように言い換えることができます。

- Se conocieron sólo hace tres meses. // 彼らが知り合ったのはわずか 3 ヶ月前です。

スペイン語の質問

* これらの動詞が他の動詞の後につくときはどのようにすればよいのでしょうか？

これらの動詞が他の動詞の後につくときは前にある動詞を3人称単数形にします。

- Parece que ya a llover mucho. // 雨がたくさん降るみたいだ。
- Cuando llegamos a la cumbre, empezó a nevar. // 私たちが頂上に着いたときに、雪が降り出しました。◇**cumbre** (女) 頂上

* 「存在する」という意味では、かならず **haber** を使うのですか？

いいえ、英語のexistにあたるexistirという動詞もあります。またestarは「…にある・存在する」という意味で使われます。これらは無主語文ではないので、「存在」するものが主語になります⁶。

- Teruel existe. // テルエル県は存在するのだ⁷。
- Madrid está en el centro de España. // マドリードはスペインの中央にある。

⁶ 古いスペイン語では **ser** 動詞も「存在する」という意味でよく使われました。

- Y dijo Dios: Sea la luz. Y fue la luz. (Génesis 1:3) // そして神は「光あれ」と言われた。すると光が存在した。(『創世記』1:3) ◇**sea** < **ser** 接続法現在3人称単数 **fue** < **ser** 直説法点過去人称単数

⁷ スペイン Teruel 県の知名度を上げるためのキャンペーン。

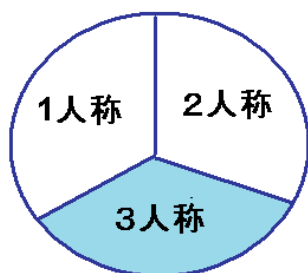
スペイン語の理由

* なぜ3人称単数が使われているのに、「無主語」なのですか。

たとえば Come mucho. 「彼・彼女・その生物はたくさん食べる」のようにふつうの3人称単数の文ならば主語が考えられます。これは文脈や状況によってわかる主語です。ところが、Llueve mucho. 「雨がたくさん降る」という文では、そのような主語が見あたりません。英語では It rains. のように意味のない it が使われます。英語では動詞の主語を必ず示すことが必要だからです。一方スペイン語では動詞の主語を必ずしも示す必要はないので、そのまま Llueve. と言えばよいわけです。

* なぜ無主語文では3人称単数形になるのでしょうか。

3人称は話し手を示す1人称と聞き手を示す2人称以外のすべてをさすので無人称を含みます。ちょっとわかりにくいのですが、人称のシステムは1人称、2人称、3人称が全体を対等に分け合っているのではなく（【図-1】）、まず1人称があって、そして2人称があり、それ以外が全部3人称というように分かれています（【図-2】）。そこで無人称は1人称、2人称ではないので3人称になるのです。



【図-1】



【図-2】

fin